

ほくぶん
【白文】

子曰、學而時習之、不亦說乎、

有朋自遠方來、不亦樂乎

人不知而不愠、不亦君子乎

學而第一 — 一

おんどく
【音読】

子曰、學而時習之、不亦說乎、

有朋自遠方來、不亦樂乎

人不知而不愠、不亦君子乎

【旧漢字と新漢字】

學 || 学

來 || 来

樂 || 楽

【訓読（くんどく）】

子のたま まな とき なら
子曰わく、學んで時にこれを習う、

ま よろこ
亦た説ばしからずや。

とも えんぼう き
朋あり、遠方より來たる、

ま たの
亦た樂しからずや。

ひとし うら
人知らずして慍みず、

ま くんし
亦た君子ならずや。

『高砂』待謡

たかぎこ うらぶね ほ うらぶね ほ
高砂や。この浦舟に帆をあげて。この浦舟に帆をあ

つぎ いでしお なみ あわじ しまかけ とお
げて。月もろともに出汐の。波の淡路の島影や。遠

なるお おきす はやすみのえ っ はやすみのえ
く鳴尾の沖過ぎて。早住之江に着きにけり早住之江

っ
に着きにけり

『うきぎ』

あんの山やまからこの山やまへ。

跳とんで来きたるは何なんじやるる。

かしらにふっふつと二つ。

細ほそうて長ながうてピンとはねたを

ちやつと推すいした。

うきぎじや。

まなんでときに。

ンこれをなるお。

ま—た—ンよるこ

ば—し—からずや

今日の古代文字 (1) 手 (1)

(金文)

(甲骨)

(金文)


【右】  (金文)

【左】  (金文)

【有】  (金文)

【受】  (甲骨)

【獲】  (金文)

 (説文)

【友】  (甲骨)

【奴】  (金文)

【及】  (金文)

【共】  (甲骨)  (説文) 【興】  (金文) 【興】  (他)



今日の漢字 (1) 學 = 学

からだを使って学ぶこと。それが「学」。

「命」の修得と「礼」の発見

「吾、十有五にして學に志す。→三十にして立つ」



参考 十五才 (十九歳〜二十二歳) ・ 三十才 (三十八歳〜四十三歳)

 (甲骨)  (金文)

君子と小人

君子はこれを己に求む、 小人はこれを人に求む

「命」と「心」をともに使う (まずは「命」)

<p>命 </p>	<p>學</p>	<p>運命、宿命【右腦的】 超越者からの命令、社会規範や社会の仕組み、人の気持ちがわかる能力、物理、数学、ビジネス的な仕組みなど</p>	<p>礼 — 禮</p>
<p>心 </p>	<p>思</p>	<p>心 = 意思【左腦的】 運命や宿命を乗り越える意思、他人や社会に左右されず自分で考え、決める力</p>	